

G 7 閣僚会合等の場を活用した国内外への風評払拭に向けて

1. 趣旨

復興庁では、震災 5 年を契機に、復興の現状に関する国内外への正確な情報発信と風評払拭に取り組んでいます。

風評被害のもととなる①空間線量の推移、②福島第一原発の現状、③食品の安全・安心の確保に向けた取組について、今後、G 7 関連会合・伊勢志摩サミットの中で、各国の閣僚はじめ参加者や報道関係の方々に、わかりやすくご覧いただき、ご理解いただけるような資料を、各省庁とともに作成いたしました。

各省庁におかれても、是非、ご活用下さいますようお願いいたします。

2. 今後の進め方

今後、本資料をベースとして、パネル、パンフレット及びそれらの英語版を作成する予定です。

また、「復興 5 年ポータルサイト」(<http://www.reconstruction.go.jp/5year/>)にも掲載予定です。

3. 配布資料

資料 1 風評対策強化指針に基づく主な取組状況と今後の取組の方向性について
(平成 27 年 6 月 4 日 風評対策タスクフォース資料)

資料 2 平成 28 年度の G7 大臣会合一覧

資料 3 風評被害の払拭に向けて
(伊勢志摩サミット・G 7 閣僚会合向け風評関連資料集)

参考資料 1 G 7 伊勢志摩サミット及び各閣僚会合における震災復興
広報の概要

参考資料 2 復興推進会議原子力災害対策本部会議合同会議議事要旨
安倍総理挨拶抜粋 (3 月 10 日 総理官邸)

参考資料 3 高木復興大臣によるプレス・ブリーフィング
「東日本大震災からの復興 - 発生から 5 年を前に - 」
(2 月 23 日 フォーリン・プレス・センター)